

# ～外来リハ通信～

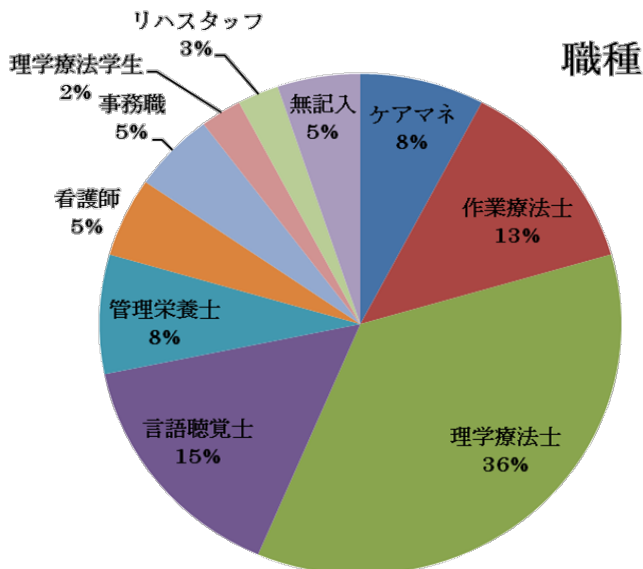
2014.02

第6回リハビリテーション技術講習会を  
2月1日(土)13:30～16:00に開催しました。

テーマは… サルコペニアの病態生理

～リハビリテーションに必要な知識と技術～ でした。

講師は、熊本リハビリテーション病院リハビリテーション科の吉村芳弘先生でした。吉村先生は、外科の先生でしたが、術後のリハビリテーションの重要性を痛感され、現在はリハビリテーションと栄養という視点からリハビリテーションに取り組まれ、積極的にご講演もされていらっしゃいます。



20代から60代まで幅広い年代の医療、福祉、介護、リハビリテーション分野の専門職の方々の参加がありました。県外からの参加もあり、今回の講習会のテーマへの関心の高さがうかがえました。

熱心なご講演の後には参加者からたくさんの活発な質問があり、非常に有意義な講習会となりました。

# 講演の内容を一部ご紹介します。

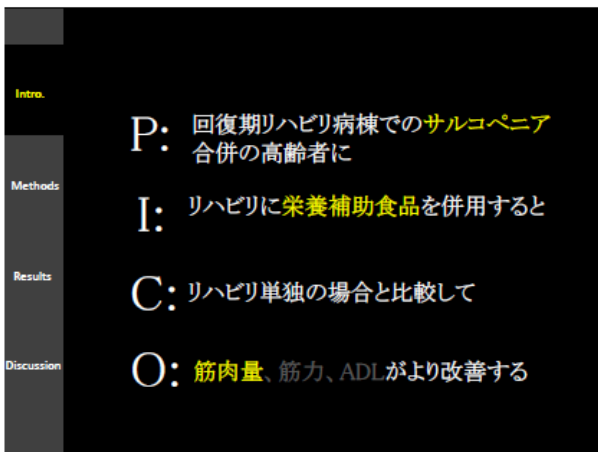
サルコペニアの基礎的知識(診断、原因、対応)に続き、現役スポーツ選手のスポーツ栄養の話、筋肉とエネルギーの話、リハビリテーション栄養とは何か、実際の症例とその対応など、非常にわかりやすいサルコペニアのお話でした。



「サルコペニア」とは、ギリシャ語でサルコ(Sarco) = 筋肉、ペニア(Penia) = 減少を表す言葉で、筋肉が減少していくことを意味します。しかし、単に筋肉が減少する筋肉減少症を指すのではなく、身体の障害、生活の質の低下、さらには死のリスクなども伴うもので、全身の筋量・筋力が進行性に低下することを特徴とする「症候群」です。



サルコペニアの原因は加齢だけではありません。疾患に加え、活動の減少や栄養不足も原因になります。活動の維持、栄養の維持が予防には重要となります。



現在の身体能力を最大限発揮させて生活を維持していくためには、サルコペニアの予防が大事です。そのためには、医療や福祉の現場で、「リハビリテーション(活動の維持) + 栄養(栄養の維持)」というリハ栄養の視点で対象者へアプローチすることが重要になってきます。

参加してくださった皆様の声をアンケート結果よりご覧ください！